

舟形連峰 大倉川戸立沢

古野

【日時】 2010年9月19日(日)～20日(月)

【メンバー】 L鈴木、浅井、福永、古野

恒例「ワシの夏休み」第2段である。穏やかで、キレイで、釣りも楽しめる、という要望の多い隊長の条件でいくつか候補を出して拾い上げられたのが戸立沢である。以前から自分の候補にはいつも挙がっていたのだが、アプローチ/下山が難しいことと、記録がなぜ少ないのか?という点で実行に移せていなかった。今回関山峠の登山道を使った下降案もあったが私の体力も厳しいので下山後タクシーによる車回収案にしてもらった。

定義如来から再奥の十里平終点で車を降りるが雨がばらばらと……。水溶性人間パーティなのでしばらく顔を見合わせて転進の相談。福島辺りの案も出で仙台市街を目指すことに。でも定義如来の駐車場で一呼吸したところ山の方は明るくなっている。最悪入渓地付近での焚き火でもよいか、という割り切りで再度戻ることになった。

地図の堰提までは踏み跡があり、入渓に苦労はない。川幅が広く矢櫃沢の出合を見逃した。大倉川の水量は少なく戸立沢の方が多く見えた。戸立沢に入ると沢幅が狭くはなるが岩床の開けたゴーロで散漫でもなくプレッシャーもないという節度ある溪相と言える。さらに兩岸が狭くなると5m位の釜と小滝が6個連続する。なんとトラロープがプラ下っている。まあこれは使わずともヘツリで通過できる。

ここを抜けると再び穏やかな溪相となり、テン場探しとなる。第二物件の鈴木不動産案が採用された。倒木がすぐ隣にあって薪集めに苦労しない。禁漁が間近なので竿を出してみるが釣れる魚はリリースサイズばかり。この沢は釣り師の入渓が多いようで巻道もしっかりしているし、途中まではロープもセットされている。そのため大きなサイズは釣り上げられてしまったのであろう。

懸念した雨もなく曇天の朝となった。二俣にはテン場の後があった。この先680m付近までは



気持ちよい溪相

テン場適地がたくさんある。二俣を過ぎると滝が現れ始める。そのどれもが登れるので



楽しい。15m直瀑も左側が階段状で登れる。テン場より上は舟形連峰のブナ林が進出してきているので心も癒される。オマケに滑床も始まり、断続的に300mくらい続く、という癒し沢の条件を備えている。

稜線へのツメをどうするか検討したが稜線の踏み跡の具合も分からないので寒風山のすぐ北にあるコルを目指すことに。

枝沢入り口の8mのナメ滝は黒くて滑りそう、と思っていたら浅井さんが滑って4m位落ちた。幸い怪我はなく、巻くことにした。岩が発達した地質のため小滝が多く、それで高度を稼ぐ。高度100m位を過ぎると斜度が緩くなり最後は再び急傾斜で稜線に出た。

稜線の踏み跡は立派でエアリアの実線で全く問題ない。寒風山山頂は見晴らしが悪いが途中舟形や黒伏山なども見える。下山途中でタクシーを呼び出すが、作並温泉のタクシー会社が廃業していて、焦る一コマも。

良くしゃべるネエさんの運転するタクシーで出発点へ向かうが、予想より代金は高く、ドキドキした。

地元山岳会の初心者講習に使われているらしいと言う情報が納得できるような感じのまとまりがある癒し系の沢であった。出来ればキノコの出そうな時期に車2台で行ければ良いと思う。

【グレード】2級

【行程】

- 9/19 出発(10:15)～戸立沢出合(10:57)～二俣手前BP(13:00)
- 9/20 BP(6:50)～760m付近支沢(8:50/9:00)～稜線(10:15)～寒風山山頂(10:30/50)～関山トンネル口(12:40)

【地図】 関山峠、定義

